豪雪地帯
尾花沢市名木沢地区

日本有数の豪雪地帯

尾花沢市は、山形県の北東部に位置し、飛騨の高山、越後の高田、出羽の尾花沢と日本三雪に数えられる豪雪地帯である。過去10年間の積雪期間が120日間を越え、また最大積雪深が266cmを記録している。

昭和37年には豪雪地帯対策特別措置法に基づき特別豪雪地帯の指定を受けている。

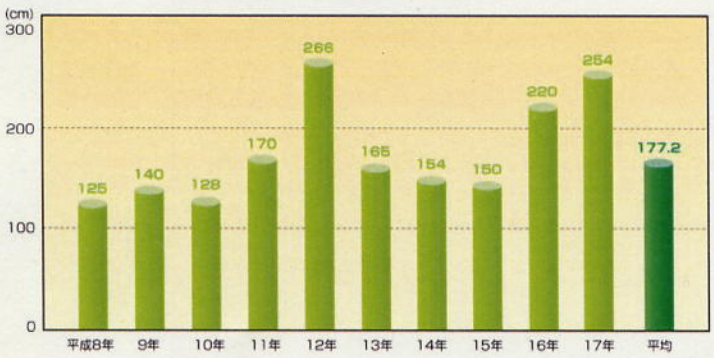
さらに、昭和33年には33,000人を越えていた人口が平成12年には22,000人となり過疎化が進んでいる状況にあり、昭和55年から過疎地域の指定も受けている。

尾花沢市では過疎化に歯止めをかけるべく様々な施策等を行っているが、当市は雪に閉ざされる期間が4ヶ月を越え、近年の交通体系から雪処理に苦慮しており冬期間の生活が阻害されることが過疎化の大きな要因となっている。そのため、雪対策を充分に講ずることが市活性化の最重要課題となっている。





■平成8年～17年の最高積雪量の推移





大雪がもたらす雪害

■交通渋滞



道路の除雪や屋根の雪下ろしで車幅が狭くなり対向車とのすれ違いが困難に。渋滞の原因となる。

■なくなる歩道



歩道が雪で埋まり、歩行者が車道を歩かざるを得ない危険な状態になる。

■水上がり



未整備区間では水路の流量不足により水上がりをおこし、歩行の障害になる。